

# 柴田熔接工作所

## 注目のフレークアイス

### 生産コスト1キ<sup>ロ</sup>1.5円



同社は震災で甚大な被害を受けた(株)和久魚問屋(宮城県石巻市、阿部幸彦社長)の復旧に急ピッチで対応。アルカリ電解水のフレーク氷「FKアイシステム」の製氷能力や貯氷能力を震災前の2倍に上げるなど鮮魚出荷体制の早期整備に尽力。今後は急速凍結機や超低温冷凍冷庫なども順次整備していく。

柴田熔接工作所(福岡市、柴田勝紀社長)はフレークアイス製氷機や超低温冷凍庫など冷熱装置の設計・製造・施工を手がけ、震災直後から被災地水産業の復旧を支援している。

フレークアイス製氷機は仏・シエネガス社製の100%過冷却されたドライ氷で、厚さ2ミリでガラスを割ったような形状が特徴で鮮魚保冷に威力を発揮。熱伝導の良さから生産効率に優れ、ランニングコストは水1キ<sup>ロ</sup>当たり約1.5円を実現する次世代型水だ。日本国内で年々導入が広がって

和久魚問屋で活用される電解水生成装置(手前)とフレークアイス製氷機

▼(株)柴田熔接工作所 福岡県大野城市仲畑2の2の43、(電)092・501・9798

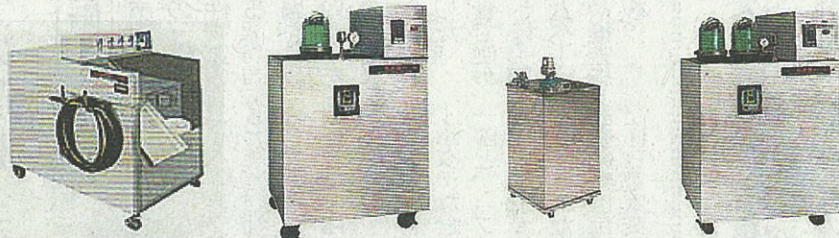
# シヨウワ洗浄機

## 排水処理経費削減に貢献

### 小型排水ろ過装置を提案

シヨウワ洗浄機(横浜市)は食品企業に向け、毎月の固定費となる排水処理経費の削減に貢献する排水ろ過装置導入提案を押し進める。水産加工施設は大量の水を使用しているため、その分、排水処理費もかかってきた。ろ過装置は水のリサイクル

排水。排水ろ過装置はごみ処理とろ過処理(BOD、COD)が可能。1台のろ過装置で70~80%のBOD、CODを除去。排水基準値と処理量に合わせ、1~2台と組み合わせ、1~2台と組み合わせ、基準値を下回る排水残さ排水といった高濃度浄化槽施設を持つ企業には、ろ過装置導入により、浄化槽に入る排水を均一化を提案。導入により、前処理(ごみ処理・ろ過処理)することにより、浄化槽の負荷軽減と汚泥処理費の削減に効果を発揮する。



排水ろ過装置

▼シヨウワ洗浄機(株) 横浜市西区久保田町12の1、(電)045・242・5559

# 高橋

## 被災地で導入相次ぐ

### トンネルフリーザー「SSJ」「WSJ」



柳井順社長

高橋工業のトンネルフリーザーの導入が、被災地で相次いでいる。「新

たに安、り、う被、社機、スも、り、の登、から

持、水

水産復興を支える機器資材紹介